

教材分析シート

(1)年(月)組 授業者(中村 基子)

教材名

およげないりすさん (わたしたちの道徳)

内容項目

友情・信頼 B (9)

ねらい

りすを一人ぼっちにしてしまった、かめたちの気持ちや、一人ぼっちになってしまったりすの気持ちを考えることを通して、友達の気持ちを考え仲良く助け合っていこうとする心情を育てる。

① 主人公

(道徳的に最も大きく変容した人物)

かめ (はくちょう、あひる)

② 助言者

(主人公の変化に重要なヒントを与える人・モノ)

遊んでいても楽しくない、心の声

③ 場面分け (主人公を主語にして分ける)

Before (道徳的な変化前)	一緒につれて行ってほしいと言うりすに泳げないからダメだ。と断る。
助言者の登場	りすがいないまま遊んでも少しも楽しくない。
転 (道徳的変化) After (変化後)	りすに昨日のことを謝り、りすをかめの背中に乗せて、みんなで島へ向かう。

④ 一文読み (要約)

池の中の島へ連れて行って欲しいと言うりすに、泳げないからだめだと断ったかめたちだが、りすがいないまま遊んでいても楽しくなかったことから、次の日、りすに謝り、今度はりすをかめの背中に乗せて、みんなで島へ向かう話。

⑤ 発問 (3種類の質問)

Before の発問 (道徳的問題を明らかにする)	→内容理解の発問「主人公の道徳的問題は何か？」 「ぼくも一緒に連れて行ってね。」と言われたとき、かめさんたちはどのようなことを考えたでしょう。
「転」又は After の発問 (主人公の気づきに迫る)	→中心発問「主人公は何に気づいたのか？」 りすさんを背中に乗せて、みんなで島へむかっているとき、かめさんたちはどのような気持ちだったでしょう。
補助発問 (あれば)	
価値追求の発問 (道徳的価値をおさえる) (テーマにかかわる発問)	→おさえの発問(「〇〇って何だろう?」、手紙、ふり返り等) かめさんたちに言ってあげたいことはありますか。 手紙をかきましょう。じぶんのことも教えてあげてね。

